

1. 会員数の推移

種別		年月日	平成22年度	
		平成21年度末 22年3月31日	予算作成時 (予 測)	23年3月31日 (実 績)
正 会 員	法人A	98	100	98
	法人B	61	65	61
	個人企業	42	41	38
	小 計	201	206	197
賛 助 会 員	法 人	6	6	6
	個人A	8	9	7
	個人B	20	18	21
	小 計	34	33	34
合 計		235	239	231

(注記)

<ブロック別会員数>

平成23年3月31日現在	
大 阪	102
京 都	24
兵 庫	36
福 井	1
滋 賀	9
奈 良	23
和歌山	36
合 計	231

<入退会実績>

平成22年4月1日～ 平成23年3月31日		
入 会	法人 A	6
	法人 B	1
	個人企業	1
	賛助法人	0
	賛助個人A	1
	賛助個人B	3
	小 計	12
退 会	法人 A	6
	法人 B	1
	個人企業	5
	賛助法人	0
	賛助個人A	2
	賛助個人B	2
	小 計	16
合 計	△ 4	

2. 事業概要報告

平成22年度、NBKは関西地域におけるニュービジネス創出の中核機関としての責務を果たすべく、「ニュービジネス成功事例の創出」のための諸事業を関係諸団体との連携のもと、取り組んでまいりました。

最重点となる活動は、ニュービジネスの顕彰制度である「NBK大賞」であり、「NBKフェスタ 2010 in 兵庫」及び「動画販路開拓支援プラットフォーム事業（NBKビデオキャスティング事業）」なども併せて行いました。

「NBK大賞」については、平成21年度を受賞企業である株式会社ホロニックの具体的支援を実施いたしました。

同社のご希望をお伺いするなかで明らかになった実際的なニーズに合わせたサポートをNBKが実施しました。同社が運営を行っている会員制クラブ「ガーデンシティクラブ大阪」に4月より入会。同クラブを利用し、常任理事会、理事会等を実施。また、「ガーデンシティの集い」と称して年間3回の経営者特別講演会を実施するとともに「ガーデンシティクラブ大阪」のセミナー、例会の案内をNBK会員に定期的に発信しました。

また、ニュービジネス協議会の全国組織である社団法人日本ニュービジネス協議会連合会（略称：JNB）が主催する顕彰制度「第5回JNBニッポン新事業創出大賞」にNBKより関西地域代表として推薦。結果、アントレプレナー部門の特別賞を受賞しました。

同社の要望に合わせて同社が行う新業種、業態への認知度を上げる目的で、全国レベルでのアピールを行ったこととなります。

同社からはこの一年間を通じ、NBK会員企業よりの提携申し出などもあり、出会うの機会が増すとともに同社ビジネスモデルに対する理解や共感を得ることが出来、業界内外の人達とのつながりが広がったとの良い報告を受けています。

「NBKフェスタ 2010 in 兵庫」については、『New Waveを活かした地域の発展を』をテーマにして実施いたしました。「研究機関等の知的資産や文化資産」を体感していただくべく、6コースの視察及び講演会を設け、府県を越えた『知り合う場』、『新たな発見の場』となりました。

兵庫に限らず、各ブロックにおいて、NBK大賞のブロック代表を決める活動がブロック活動に加わったことで、新たな事業の流れが創出され、ブロック活動の活性化に資しているのではないかと考えております。

販路開拓については、従来のアナログ的手法からデジタル的手法に転換した仕組みであるWebを活用した中小・ベンチャー企業の「動画販路開拓支援プラットフォーム事業（NBKビデオキャスティング事業）」を継続することにより、販路開拓に引き続き注力してまいりました。開始後2年間近くが経過しましたので、昨年度の報告の際にお約束いたしました通り、平成23年度以降は自立した独立採算事業として、実施、運営を行います。

会員交流や会員増強の要であるブロック活動がNBK事業のもう一つの柱であることに何らの変更はありません。平成22年度の活動も前年どおり活発に行われました。大阪ブロックにおいては、毎月欠かさず例会が開催されることが定着化しました。読書会である「ドラッカー研究会」が特に好評を博し、毎回多くの方々がお集まりになっております。NBK大賞のブロック候補の選定作業を行うことが、各ブロックでの活動に相乗効果をもたらし、ブロック活動がますます活発化し、会員の皆様の満足度も増してきたように思われます。また、大阪と兵庫、京都と和歌山、和歌山と奈良の合同例会など、ブロック横断的な行事も行われています。

残念ながら会員数は1年前と比較すると微減となりました。但し、収支勘定につきましては、平成22年度も経費節減に努めた結果、当初の収支予算をクリアすることが出来ました。

今後は会員数の増加を目指して積極的に活動を行っていきたいと考えております。会員増強のためには、逆に魅力あふれる事業の遂行が必須のこととありますので、平成23年度予算策定にあたっては、前年度実施の事業はすべて同じ規模で実施すると同時に新たにニュービジネス振興研究会事業を加えたいと思います。

内需の成長率が低いため、大多数の中小企業では回復の実感が乏しい状況が続いております。平成23年度の見通しは依然として重苦しさにおおわれています。

NBKの置かれた状況も依然として厳しいものでありますが、このような時こそニュービジネスを興すことが必要であり、より多くの企業が成長することによって新市場と雇用が創出され、景気回復を確かなものにするのが重要でありますので、NBKの役割はいよいよ重要なものとなっていくと思っております。

以上で事業概要報告を終わりますが、当協議会の事業活動に当たり、会員企業はもとより関係行政および関係諸団体並びに大学・研究機関等の絶大なるご支援ご協力を賜りましたことに対し、厚くお礼申し上げます。

■ニュービジネス発掘育成委員会

(1) 総会、理事会、幹部会等について

第20回通常総会を5月に開催。理事会を5月、7月、10月、12月、3月の計5回開催。また、常任理事会を4月、6月、9月、10月、11月、3月の計6回開催した。

(2) 広報活動について

◆NBK広報誌「ザッツNB」を新聞形式と冊子形式の両方にて発信

NBKの事業内容や会員企業等の新規事業等の情報、行政・大学・研究機関・全国のニュービジネス支援団体等に関する情報を掲載し、4回発行。ニュービジネス関連の情報提供として、会員企業をはじめ関係機関・報道機関に配布した。発行部数は1,000部。

◆NBKホームページ

会員企業、新規事業支援機関、大学・研究機関の支援施策、ニュービジネス関連事項、NBK関連事業(NBK大賞、経営セミナー等)の案内や、公益法人としての情報開示を行った。アクセス数は約45,000件/月であった。

◆ニュービジネス情報「NBKニュース」のEメール配信

関係機関等の最新のニュービジネス情報、NBK活動案内、ニュービジネスに係わるイベント案内を、会員並びに配信希望のある非会員を含め1,500人(企業)に月平均2回配信した。

(3) JNB関連について

JNB通常総会を6月に、理事会を5月、11月、3月に開催。また、正副会長会議が8月、1月に、全国会長会議が6月、1月、11月に、事務局代表者会議が7月に開催された。

事業活動はそれぞれ担当委員会の活動を通して展開し、組織の拡充、会員ニーズの充足、更なる成長発展に資するとともに、わが国における創業促進の環境整備、機運高揚に貢献した。

(主な事業活動)

①第6回新事業創出全国フォーラム・JNB全国会員大会の開催

独立行政法人中小企業基盤整備機構の協力を得て、さいたま市において開催し、延べ1,400人以上の参加があった。なお、平成23年度(第7回新事業創出全国フォーラム)は大阪市内で開催される予定。

②第5回「ニッポン新事業創出大賞」の実施

③「訪中国经济ミッション・上海万博ツアー」の実施

JNBにとって初となる海外視察事業を6月24日(木)~27日(日)上海万博視察を兼ねて行い、NBKを含む全国各地の10協議会より58名の参加を得た。

④パブリックコメントの募集

経済産業省と連携し、「有価証券の引き受け等に関する規則等の一部改正について」等7件のパブリックコメントを全国の会員に投げかけ実施した。

⑤「国内投資促進円卓会議」への意見具申

(4) 動画販路開拓支援プラットフォーム事業

①NBKビデオキャスティング事業

自社の独自技術や商品等の強みを約1分間の動画にまとめインターネット上で、2009

年 7 月 21 日より配信を行い、2011 年 3 月 31 日現在で配信企業は 21 社である。
 詳細は下記のとおり。(http://www.nbkhanro.com/)

○ビデオキャスティング配信状況

No.	会社名	住 所	備 考
1	株式会社山岡製作所	京都府城陽市平川横道 93	
2	株式会社中農製作所	大阪府東大阪市足代北 1 丁目 18 番 26 号	
3	株式会社共伸技研	大阪府門真市上馬伏 444-3	
4	株式会社ヤマシタワークス	兵庫県尼崎市西長洲町 2 丁目 6 番 18 号	NBK 表彰企業
5	株式会社ユニックス	大阪府東大阪市加納 4 丁目 14 番 31 号	
6	株式会社オーミヤ	東大阪市松原 1 丁目 2 番 42 号	
7	株式会社ケンテック	大阪府大東市新田北町 1-5	
8	株式会社大林環境技術研究所	滋賀県蒲生郡安土町上豊浦 1435 番地	NBK 役員企業
9	株式会社ユニオン防音	大阪市西区南堀江 2-12-26	NBK 会員企業
10	学校法人エール学園	大阪市浪速区難波中 3-13-1	NBK 役員企業
11	株式会社オクタス	大阪市中央区北浜 2-3-10	
12	コーケン・テクノ株式会社	堺市築港浜寺西町 5 番 2	
13	三元ラセン管工業株式会社	大阪市城東区永田 1 丁目 2 番 37 号	
14	株式会社インテリックス	和歌山市里 174 番地の 1	NBK 会員企業
15	山陽製紙株式会社	大阪府泉南市男里 6-4-25	
16	伏虎金属工業株式会社	和歌山市吹屋町 2-33	NBK 会員企業
17	サラヤ株式会社	大阪市東住吉区湯里 2-2-8	NBK 役員企業
18	アクロナイネン株式会社	和歌山市西浜 789-3	NBK 会員企業
19	株式会社寿精密	和歌山県伊都郡かつらぎ町東浜田 651-23	NBK 会員企業
20	第一化工株式会社	奈良市西九条町 5-4-9	NBK 会員企業
21	株式会社アオヤマエコシステム	大津市瀬田神領町 40-3	NBK 表彰企業

■ニュービジネス支援委員会

(1) 「NBK フェスタ 2010 in 兵庫」の開催について

11 月 12 日 (金)、「NBK フェスタ 2010 in 兵庫」を神戸市産業振興センター及び神戸コンチェルト号において開催した。

今年度の開催地兵庫では、『New Wave を活かした地域の発展を』をテーマに、「研究機関等の知的資産や文化資産」を体験いただき、6 コースの視察及び講演会を開催、府県を越えた『知り合う場』、『新たな発見の場』とした。

全体は 3 部構成で、第 1 部は会員選択方式による「神戸見学会」、第 2 部は「NBK 大賞 2010」各ブロック賞の表彰式と選考会、第 3 部は神戸ハーバーランドから出航する神戸コンチェルト号船上での「NBK 大賞 2010」大賞の表彰式とニュービジネスに関係のある方々が集う「交流会」を実施した。

実施概要は次の通り

<第1部>

・神戸見学会

数ある政令都市の中でも、特にさまざまな新しい施策を打ち出し、地域発展につとめている、神戸。兵庫ブロック会員が、そんな“神戸”の代表的な企業や施設にご案内し（6つの体感コースを用意）、知的資産や文化資産にふれていただいた。

- ①Aコース…『講演会』（テーマ：「農業とベンチャー／地域活性化のイノベーション」）
神戸ベンチャー研究会の10周年記念事業「第10回神戸ベンチャーフォーラム」と連携して開催。2つの講演会のあと、パネルディスカッションも行われ、地域活性化のための交流について活発な議論が行われた。

○講演1：西辻一真氏（株式会社マイファーム・代表取締役）

「自分で作り、自分で食べる、『自産自消』ができる社会をつくる」という企業理念のもと、農業を生産ではなく文化的事業ととらえ、耕作放棄地を有効活用した体験農園、幼児食農教育、障害者支援、園芸療法、婚活まで幅広い事業を展開。大きな転換期を迎える農業には、多くのビジネスチャンスがある、と話された。

○講演2：奥森隆夫氏（NPO法人未来守りネットワーク・理事長）

地元漁業者と協力して中海（なかうみ）の海草を採取・たい肥化し、米作りに活用することで、中海にたまった窒素及びリン等の栄養塩の系外排出を図り、地域の水環境保全活動においてモデル的な役割を果たしている、と話された。

- ②Bコース…『次世代スーパーコンピュータ』見学会

次世代スーパーコンピュータが設置されている「理化学研究所計算科学研究機構」の研究棟と計算機棟地下の免震構造を見学。計算機棟は震度6強に耐える防震構造になっており、建物の鉄骨構造全体を49個の大きな積層ゴム免震構造で支え、揺れを抑えるU型鋼性ダンパー、震動エネルギーを熱変換する鉛ダンパーを備えている、とのことであった。また、一般公募で愛称を「京（けい）」と名づけられた次世代スパコンの事業とシュミレーションの可能性についても説明を受けた。

- ③Cコース…『神戸医療産業都市構想関連施設』見学会

関西の産学連携のもと、ポートアイランドを中心に高度医療技術の研究・開発拠点を整備し、医療関連産業の集積を図り、①雇用確保と神戸経済の活性化、②先端医療技術提供による市民福祉の向上、③アジア諸国の医療水準の向上、による国際社会への貢献を目指した『神戸医療産業都市構想』の主要関連3施設（神戸キメックセンタービル（KIMEC）、神戸臨床研究情報センター（TRI）、先端医療センター（IBRI））を13名で見学、『神戸医療産業都市構想』が着実に進められていることを実感した。神戸が日本のみならず世界の医療産業の中核なることを見学者全員で期待した。

- ④Dコース…『灘五郷 酒蔵めぐり』

NBKメンバー13名が兵庫の灘「魚崎郷」の酒蔵を巡り、「素材」「技術」「環境・風土」が一体となっとうまれる「灘の酒」の見学と試飲を楽しんだ。

○「菊正宗酒造記念館」

平成7年1月の阪神淡路大震災で倒壊したものを掘り起こして再建、看板なども昔の書家の手になるものを修復し再掲示、昔日の雰囲気を残し情緒を漂わせている。

○「浜福鶴吟醸工房」

名物案内人の宮脇米治さんより、酒造りにまつわる蘊蓄を伺った。

⑤Eコース…『ホテルセトレ』見学会

昨年NBK大賞を受賞した株式会社ホロニックの直営施設「ホテルセトレ」。まず、全ての部屋がオーシャンビューで景色が素晴らしい。また、昼時でもエステやレストランを利用している近隣のお客様（主婦らしい人）が何人もおり、その方々がゆっくりと海を眺めている姿がなぜか景色に溶け込んでいて、『What is リゾート型コミュニティホテル?』と思って参加した人間にも新鮮で、納得できる体験であった。

⑥Fコース…『シスメックステクノパーク』見学会

シスメックグループの研究開発拠点「テクノパーク」は、敷地の半分以上を緑地帯としており、環境への配慮が感じられるとともに、「カルチャーなくしてサイエンス、新しいテクノロジーはない」との社長の考えから新たな発想力を刺激するようなオブジェがいたるところに設置されていて、大変面白い施設である。

見学メンバーは、研究開発の建物の1階に展示してあるシスメックスの製品一号機についての説明も受け、シスメックスの創業からの歴史、技術等に感銘を受けた。

<第2部>

・「NBK大賞2010」選考会

昨年度より最優秀社1社のみでNBK大賞・近畿経済産業局長賞を授与、大賞受賞者に対する支援ニーズの確認を行い、大賞受賞者のニーズにあった実効性の高い経営支援を行うことにより、「ニュービジネス成功事例の創出」を実現させることを新たな目的に加えている。

大賞選考に先立ち、各ブロックより選出された候補企業が公開プレゼンテーションを行った上で、NBK会長、副会長を核とする審査員による即日の大賞選考が行われた。結果、今年度のNBK大賞は（株）アイスティサイエンス（和歌山ブロック代表）に決定した。

<第3部>

・「NBK大賞2010」表彰式・交流会

本年度は、神戸ハーバーランドから出航する「コンチェルト号」の船上で表彰式と交流会を行った。

表彰式では、NBK大賞選考委員長の宮田由紀夫関西学院大学国際学部教授より選評のあと、立野純三NBK会長よりNBK大賞、近畿経済産業局・永塚誠一局長より近畿経済産業局長賞の表彰状が、それぞれ授与された。

交流会では、神戸ベンチャー研究会からもご参加いただき、約120名が夜の神戸の町並みなど素晴らしい景色を眺めながら親交を深めた。

(2)「NBK大賞2010」について

関西地域において独創的かつ市場性のあるニュービジネスを展開している企業・経営者の中から最優秀者を選び、その事業成果に対して表彰・公表を行うことにより、これらのニュービジネス経営者の事業成長を側面から支援するとともに将来の起業家発掘・育成を図るものである。

<選考及び発表>

・6月1日から7月15日までを募集期間とし、合計29件の応募があった。

選考期間：7月16日～8月31日

各ブロック毎にブロック評価選考委員会を開催し、1社を選出した。
各ブロック賞は次の通り。(順不同)

- 【大阪ブロック】株式会社 デジタルマックス (大阪府吹田市)
EcoCatポータル、無料完全自動デジタルカタログ製作
サイト
- 【京都ブロック】株式会社 旅のお手伝い楽楽 (京都市中京区)
京都バリアフリー観光サポート事業
- 【兵庫ブロック】エフアイエス 株式会社 (兵庫県伊丹市)
産業分野の微量ガス及び医療分野の呼気ガスの高感度計測
- 【滋賀ブロック】高橋金属 株式会社 (滋賀県長浜市)
排水中のリン・フッ素を吸着・除去・再資源化できる吸着材
「エコリッジ」と、これを利用した「資源回収装置」の開発
- 【奈良ブロック】第一化工 株式会社 (奈良県奈良市)
電気も傘袋も使わない雨傘しずく取りの製造・販売
- 【和歌山ブロック】株式会社 アイスティサイエンス (和歌山県和歌山市)
食の安全と安心を目指す農薬分析装置の開発

企業訪問調査：9月1日～9月30日

専門家(公認会計士、税理士、中小企業診断士、技術士等の専門家)
による貸借対照表、損益計算書等の決算報告書2期分の確認と企業
訪問調査を実施した。

- ・10月27日(水) 第1次プレゼンテーションと第一次審査
- ・11月12日(金) 公開プレゼンテーションと最終審査

<表彰>

11月12日(金)、「NBK大賞2010」公開プレゼンテーションと最終審査を神戸市の神戸市産業振興センターで開き、NBK大賞と近畿経済産業局長賞に農薬分析装置開発の(株)アイスティサイエンスを選んだ。

同社の高い技術力といま話題の(残留農薬分析による)食の安全というニーズの高い事業に取り組んでいる事を評価したものである。

(3) ブロック事業について

平成22年度の活動も前年どおり活発に行われました。ブロック毎に、地域の特性に合わせた新規性・独自性を重視したブロック活動が行われたことと、NBK大賞のブロック候補の選定作業を行うことが、各ブロック候補の選定作業を行うことの二つが相乗効果をもたらし、ブロック活動が活発化し、会員の皆様の満足度がましてきたように思われます。また、京都と和歌山、奈良と和歌山、兵庫と大阪の合同例会など、ブロック横断的な行事も行われた。

各ブロックの活動内容は以下の通り。

① 大阪ブロック

原則毎月第 2 水曜日に月例会を開催し、ブロック会員サービスの充実と会員拡大を図った。

- ・「経営者講話の会」・・・4月・8月
- ・「問題解決法の会」・・・5月・9月
- ・「先端産業見学会」・・・4月・6月・11月
- ・「売りたい、買いたいマッチング会」・・・6月・10月・3月

そのほか随時開催の会として、「ドラッカー研究会」を9月・10月・11月・12月・2月の5回、3月には「竹原編集長の明るい勉強会」を開催し、大変好評を得た。

なお、1月21日～22日には兵庫ブロックと合同で、有馬温泉「古泉閣」にて例会を開催した。この合同例会では金井重要工業(株)の金井宏実社長に講演を、(株)プラスリジョンの福井佑美子社長に事例発表を行っていただいた。

また、今秋予定の「JNB全国大会」は大阪にて開催されるため、幹事会メンバーを中心に準備委員会を組成し、実施に向けての検討を行った。

② 京都ブロック

会員の満足度と参加度を高めることを目的に、ブロック独自の活動を展開した。

「NBK大賞 2009」ブロック賞受賞の(株)ヴァロールに対しては、支援希望内容に応じてブロック会員の役割を決め、継続的に支援活動を行ってきた。

会員企業相互の研鑽、情報交換の場としての例会を4回開催。9月10日には和歌山ブロックと合同例会を開催し、和歌山の築野食品工業(株)の工場見学を行った後、和歌山の(株)島精機製作所において近畿経済産業局の永塚誠一局長より、「関西メカリージョン活性化構想」というテーマでのご講演をいただき、引き続いての懇親会では両ブロックの相互親睦を図るなど、自ブロックだけでは難しい他ブロックとの横断的な交流を行い、NBKの総合力を生かした取り組みを実現している。

③ 兵庫ブロック

兵庫ブロック役員会を6月に開催し、ブロック開催としては2回目となる「NBKフェスタ」の企画・運営等についての協議、検討を行った。11月12日に「NBKフェスタ 2010 in 兵庫」として神戸市産業振興センター及び神戸コンチェルト号で開催。

通常例会は6月、10月、3月の3回実施。

8月には(社)兵庫工業会と共催し、「夏のビッグイベント 2010」においてシンポジウムを開催した。このビッグイベントは今回で9回目となり、兵庫の産業界の夏の催しとして大きく定着し、認知を受けている。

また、1月21日～22日には大阪ブロックと合同例会を開催。(前述の大阪ブロックの項を参照。)

「NBK大賞 2010」については、兵庫ブロック評価委員会を組成し、評価委員会の基準に基づいての選考の結果、ブロック代表としてエフアイエス(株)を選出した。

④ 滋賀ブロック

「水と環境」を年間テーマとし、4月は柳ヶ崎浄水場の見学、6月には、「NBK大賞 2009」ブロック賞受賞の(株)アオヤマエコシステムの炭化リサイクルセンターの見学、12月には水質保全のための新たな水質評価方法の取り組みについての講演会をそれぞれ開催した。(株)アオヤマエコシステムには、見学会開催のほか、同社のニーズに合わせた支援をブロックにより行った。

「NBK大賞 2010」については、8月例会において滋賀県内のニュービジネス・ベ

ンチャー企業を招聘し、NBK大賞にブロック推薦する企業の選考会を行った。

10月20日～22日開催の「びわ湖環境ビジネスメッセ2010」にも参画。同メッセは今年で13回目を迎え、過去最多の313社から環境関連の製品や技術、サービスが集結、延べ36,580人を超える来場者で賑わった。

⑤ 奈良ブロック

施設見学および体験事業を通して、ブロック会員間の親睦を図るとともに、他ブロックとも積極的に交流し、地域の潜在能力を学び、ニュービジネス発見の契機を探った。

7月に和歌山ブロックとの合同例会を和歌山の白浜オーベルジュサウステラスにて開催し、島正博NBK顧問より「EVER ONWARD ～愛と気と創造でチャレンジする～」をテーマにご講演をいただき、その後の懇親会で、両ブロックの懇親を深めた。尚、両ブロックの合同例会は2009年度に引き続いて2回目の開催となる。

8月には「NBK大賞2010」評価選考委員会を開催し、ブロック推薦企業を選出した。10月には県内企業の視察として、ミスタードーナツの歴史とシステムについて講義を受けた後、各店舗に分かれドーナツ製造過程の見学を実施した。2月には、ブロック会員の事業報告会と懇親会を開催した。

⑥ 和歌山ブロック

お互いの交流の中で刺激し合い、経営技術やモノづくりで企業価値を高め、起業家精神を磨くことを目指し、地元の行政及び諸団体と連携を保ちながら、会員企業の事業紹介を交えた例会を実施した。

特筆すべきことに、和歌山ブロックは他ブロックとの合同例会開催の取り組みにとっても積極的なことがあげられる。それぞれのブロック活動の項にて前述したように、7月には奈良ブロックと合同例会を開催し、9月には京都ブロックと合同例会を開催、自ブロックの枠内にとらわれず、大きなスケールでニュービジネス協議会活動を行っている。

3月には、和歌山県の仁坂吉伸知事を講師としてお招きし、「和歌山県産業技術振興について」の講演会を行った。

⑦ 福井ブロック

北陸3県内外から163の企業、大学、研究機関が出展する「北陸技術交流テクノフェア2010」が10月21日、22日と2日間、NBK他多くの団体の後援で開催された。21回目を迎えた今回から来場者の利便性や出展者同士の交流促進を図るため、「低炭素社会実現の鍵を握る環境技術」「持続可能で安全・快適な社会を支える都市インフラ」「ものづくり技術」の3テーマゾーンに区分され、技術と産業が向かう方向性や、次世代産業の可能性が示された。

なお、会場には商談コーナーが設けられ、活発に商談会が展開されたほか、プレゼン会や講演会もあり、来場者数は2日間で延べ17,621人に及んだ。